



## 江刺JVC PHANTOM

# 全国の頂点目指す

高知県香南市を会場に、23日に開幕する「第10回全国スボ少バレーボール交流大会」に東北ブロック代表として出場。全国の頂点を目指し、連日の猛練習

が続いている。

高さと速い攻撃が魅力のチーム。左利きのライト千葉永雅主将(愛宕小6年)、速攻でチームに流れを引き寄せるレフト菊

地真広(同)、抜群のジャンプ力を生かしたブロックとスパイクで得点を重ねるライト菅野馨雅(横田小6年)ら攻撃陣が強力。高橋瑠偉副主将(岩谷堂小6年)ら守備範囲が広い選手もそろっており、チーム一丸となって上位進出を狙う。

大会には全国から各ブロック代表の10チームが出場。5チームごと2ブロックに分かれた予



選リーグ、各リーグ1位が駒を進める決勝戦で日本一を争う。江刺は予選リーグで岩見沢(北海道)、樺(三重)、群馬大和(群馬)、大篠(高知)と対戦する。

全国の強豪とどう戦うか。千葉主将はスパイク、レシーブの強化をチーム課題に「速い攻撃で攻めたい」と本番を見据える。守備の要となる高橋副主将も「ワンタッチのボールはチャンス。全部取りたい」とつなぐバレーで勝利を誓う。

「高さがあるチーム。本番までに攻撃の幅を増やしていきたい」と後藤一臣監督。練習ではけきを飛ばしながら懸命についてくる子どもたちを優しく見守る。目標は「江刺から日本一」。夢の舞台が目前に迫っている。

